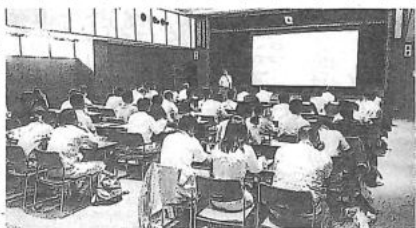


コンク リート 診断士会が講師役

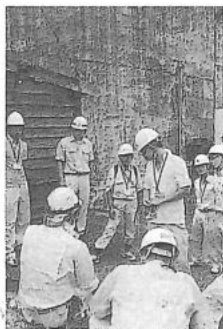
福井県道路メンテナ ンテ研修会

第2回開く



福井県道路メンテナ
ンス会議の15年度第2

回研修会はこのほど開
かれ、福井県コンクリ
ート診断士会が講師役
を担ってコンクリート
に関する基礎知識を座
学により伝授した。福
井市越廬公民館で。



まず同士の会の石川裕
夏会長がコンクリート
構造物の維持管理の基
礎知識について3大損
傷の塩害、アルカリ骨
材反応（ASR）およ
び凍害の具体的な事例

での自
験者
も組
とら
も取
足ら
の検
橋に
非破
長実
治た
の海
岸沿
い

を挙げながら分かりや
すく紹介した。写真。
塩害は日本海からの季
節風の影響で海岸沿い
で多く発生。ASRは
九頭竜川水系で安山岩
が広く分布し特にその
上流部で発生。また凍
害は冬場の最低気温が
マイナス2度を下回る
奥越地区の山間部で発
生すると分布図を示
し、特に九頭竜湖の向
東洞橋や河野大橋の補
修補強事例を詳説して
参加した自治体職員ら
に理解を促した。

ト橋の劣化原因につい
て話し掛けた。同橋の
変状と調査方法、橋梁
定期点検マニュアルに
基づく劣化評価なども
紹介した。

さらに、この後の現
地実習では国道305
号線上の長橋の橋脚を
教材として、コンクリ
ート構造物内の鉄筋や
埋設物などを調査する
方法の一つ、電磁波レ
ーダ法を実際の機器を
用いて学び、ASRを
低コストで即座に判定
するゲルステイン法な
どの効力についても知
識を深めた。

夫副会長はコンクリー
続いて同士の会の原幹